



奈良県感染症情報

平成 29 年 第 43 週 (10 月 23 日～10 月 29 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- インフルエンザの感染経路について
- ノロウイルスについて ～その 3～

◆ 定点把握感染症報告状況 (定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	2.74	(2.41)	↑	→	↑↑	↓
2	感染性胃腸炎	2.68	(3.15)	→	→	→	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.94	(1.53)	↗	↗	↑	→
4	RS ウイルス感染症	1.38	(1.85)	↓	↓	↓	↓
5	突発性発しん	0.50	(0.50)	→	→	↗	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↓やや減少**、**↓↓減少**

◆ 県内概況 ◆

手足口病の報告数は、中和保健所東部地域で増加しています。手足口病はワクチンがなく、感染しても発病せずにウイルス排泄をしている場合もあるため、予防対策が難しい感染症の一つです。手洗いをこまめに行い、タオルの共有はやめましょう。

郡山保健所管内の高校でインフルエンザの集団発生がありました。保健研究センターで検査を実施した結果、AH3(香港)型を検出しました。県内での A 型の集団発生は今シーズンに入り初めてです。手洗いなど基本的な予防対策に努めましょう。

◆ インフルエンザの感染経路について



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 29 年 第 43 週 10 月 23 日 ~ 29 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ	3 (0.06)	2 (0.14)	1 (0.07)					
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	47 (1.38)	12 (1.33)	7 (0.78)	16 (2.29)	10 (1.67)		2 (1.00)	
咽頭結膜熱	15 (0.44)	1 (0.11)		3 (0.43)	10 (1.67)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	66 (1.94)	3 (0.33)	19 (2.11)	4 (0.57)	38 (6.33)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	91 (2.68)	28 (3.11)	10 (1.11)	26 (3.71)	24 (4.00)	2 (2.00)	1 (0.50)	
水痘	12 (0.35)	2 (0.22)	3 (0.33)	6 (0.86)	1 (0.17)			
手足口病	93 (2.74)	10 (1.11)	12 (1.33)	22 (3.14)	49 (8.17)			
伝染性紅斑	2 (0.06)			1 (0.14)			1 (0.50)	
突発性発しん	17 (0.50)	3 (0.33)	6 (0.67)	1 (0.14)	7 (1.17)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	16 (0.47)	5 (0.56)	2 (0.22)	5 (0.71)	4 (0.67)			
流行性耳下腺炎	8 (0.24)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)	5 (0.83)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	8 (0.80)	1 (0.33)	4 (1.33)	1 (0.50)	2 (1.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市2、郡山1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(中和1)
4類感染症	
5類感染症	

❖ 第43週のトピックス ❖

◆海外における一類感染症の発生状況

<http://www.mhlw.go.jp/file.jsp?id=442581&name=file/06-Seisakuiouhou-1090000-Kenkoukyoku/0000163171.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

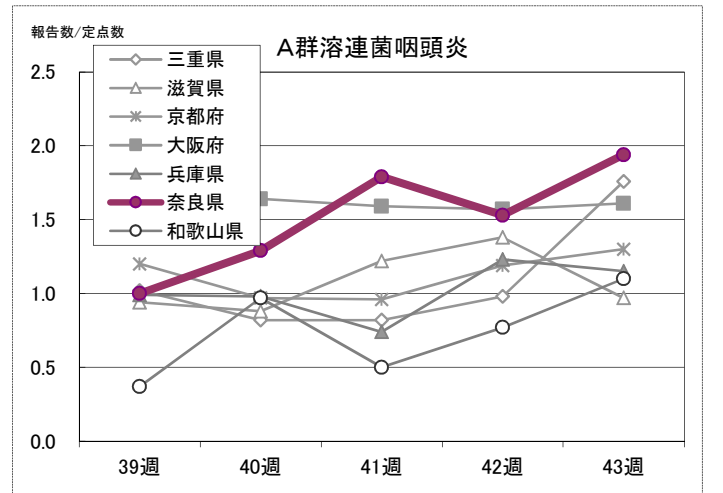
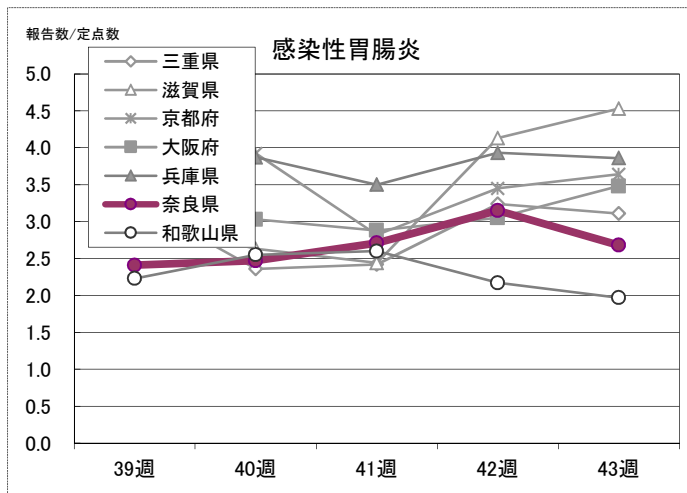
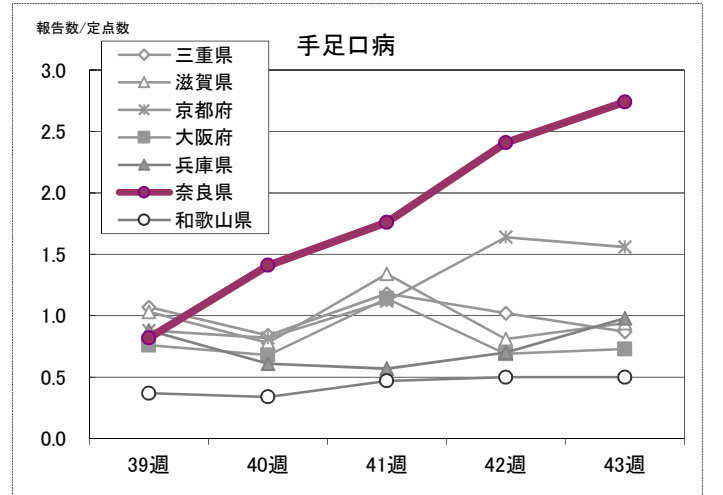
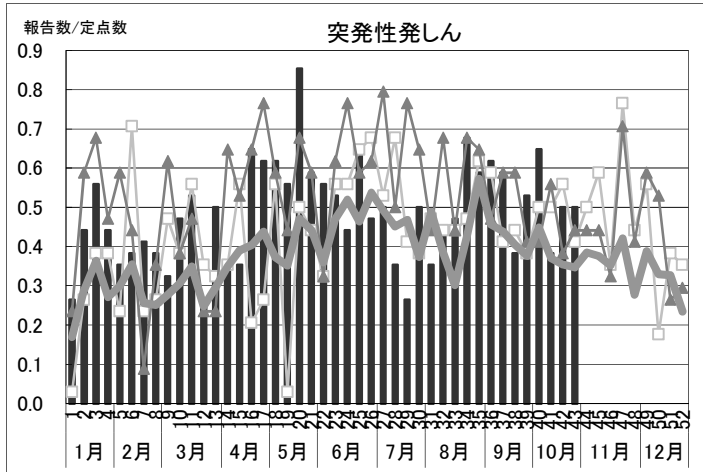
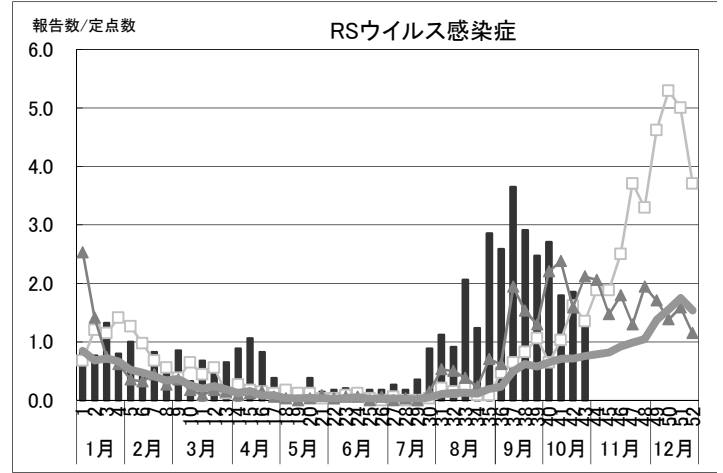
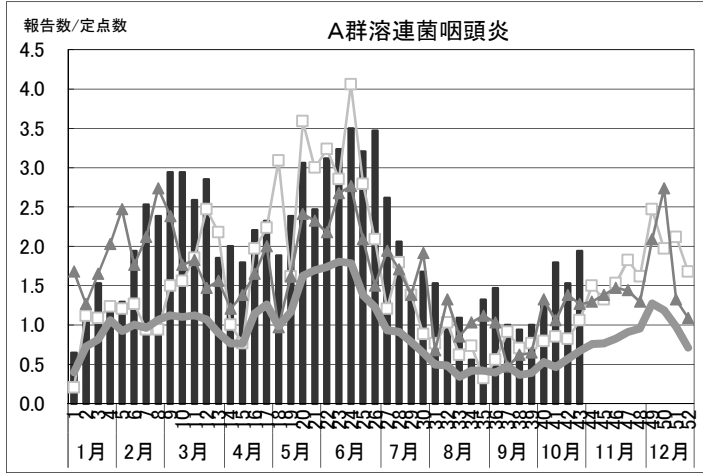
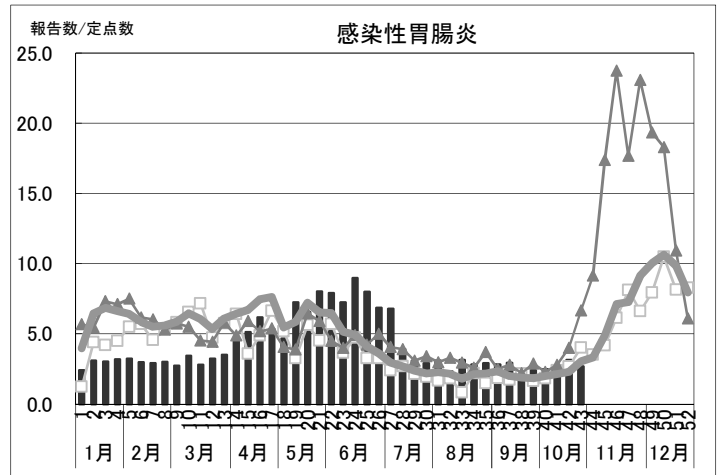
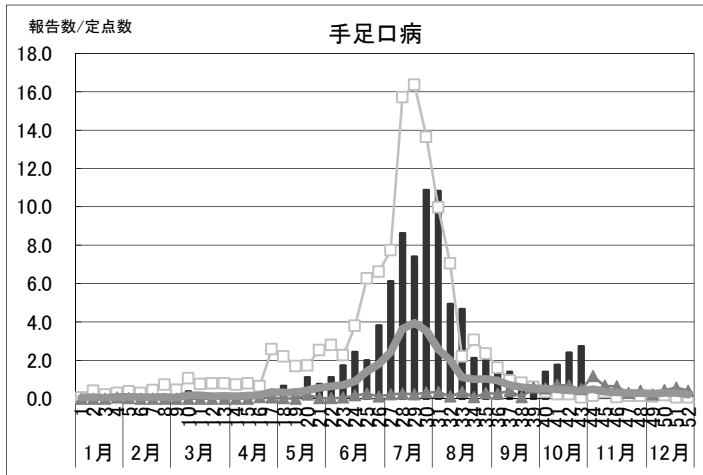
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男											1		1			1					3	5275	
	女																						3	5023
RSウイルス感染症	男	4	5	13	6	1	1		1													31	764	
	女	1	3	6	2	2	2															16	720	
咽頭結膜熱	男		1		2	1	2	1	1													8	563	
	女			2	2	1	1	1	1													7	451	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	4	3	8	5	6	5	2	2	3	1	1							40	1554	
	女			1	2	1	5	4	2	1	3	3	1	3								26	1321	
感染性胃腸炎	男	1	3	10	9	6	2	5		1	3	1	6	2	3							52	3271	
	女		4	5	5	4	1	2	1	2	2	1	1		11							39	2803	
水痘	男		1	1			1						3									7	258	
	女				1	1				2	1											5	255	
手足口病	男		4	15	13	5	2	3	2													44	1634	
	女		3	17	9	6	12	1		1												49	1339	
伝染性紅斑	男						1	1														2	41	
	女																						2	52
突発性発しん	男		2	9		1																12	382	
	女		2	3																		5	327	
百日咳	男																						4	
	女																						5	
ヘルパンギーナ	男			2	2	2	1					1	1									9	322	
	女		1	1	2	1				1					1							7	295	
流行性耳下腺炎	男				1			1				1										3	410	
	女		1							1	1		1									5	380	
急性出血性結膜炎	男																						2	
	女																							
流行性角結膜炎	男														1	1					2	4	129	
	女			1			1															4	117	
細菌性髄膜炎	男																						8	
	女																						9	
無菌性髄膜炎	男																					1	19	
	女						1																8	
マイコプラズマ肺炎	男																						60	
	女																						51	
クラミジア肺炎	男																						1	
	女																						26	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1	
	女																						26	

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ H29 ▲ H28 □ H27 〰 過去10年平均



❖ ノロウイルスについて。～その3～❖

今回は、二次汚染（流行拡大）予防のための対策についてです。

📌 普段から

❖ 感染予防・拡大予防の基本は、手洗いです

- ◆ 正しい手洗いを、流行シーズン前には、再度確認しましょう。
- ◆ 石けんの補充（液体石けん推奨）、タオルは共用しない（個人持ちタオルであっても、隣と触れあわないように）こと等、流行前に手洗い環境を整えましょう。

❖ トイレに注意

- ◆ 特に流行期には、症状があってもなくても、トイレの後はしっかり手洗いするようにしましょう。
- ◆ 調理従事者は、調理するときの服を着たままトイレに行ってはいけません。
- ◆ おむつ交換やトイレ介助の後も、しっかり手洗いしましょう。

❖ トイレを清潔に

- ◆ 掃除の時は、袖口も覆う長い手袋を着用し、汚物に直接触れないように注意しましょう。
- ◆ 下痢便が飛び散る範囲も想定し、日頃からこまめに清掃し、必要に応じて次亜塩素酸ナトリウムを用いて消毒しましょう。
- ◆ 次亜塩素酸ナトリウムは、有機物の汚れ（便や嘔吐物など）があると効果が低下します。便や嘔吐物など取り除いてから、次亜塩素酸ナトリウムを含ませた布等で清拭しましょう。

❖ 患者が発生した時に備えて

- ◆ すぐに対応できるよう対策方法をまとめ、情報共有しましょう。トイレ掃除や嘔吐時の処理（やり方・必要な器具及びその置き場所）を予め用意しておく事が重要です。
- ◆ 汚物処理セットは、100円ショップでも入手できます。使い捨ての手袋・マスク・エプロン、ペーパータオル、ゴミ袋、バケツ、次亜塩素酸ナトリウム・希釈用の容器（500mL ペットボトル）・希釈方法 など
- ◆ 次亜塩素酸ナトリウムは、希釈したその日に使い切るようにしましょう（保存すると効果が低下します）。



次亜塩素酸ナトリウム希釈方法

（5%濃度の塩素系漂白剤場合）

・嘔吐物・下痢処理時

500mL にペットボトルキャップ2杯

・環境の消毒

500mL にペットボトルキャップ半杯

📌 患者発生時には

❖ 患者さん本人について

- 感染してから24～48時間後（潜伏期間）、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などで発症します。発熱は軽度です。通常、これら症状が1～2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。
- 高齢者では、嘔吐物を誤嚥したことが原因で死亡する事もあり、状態には注意が必要です。
- 集団生活（保育園・学校・施設）している人は、症状がある事を先生などに報告しましょう。
- 下痢・嘔吐のあるときは、集団遊びなどは控えましょう。
- 症状が治まった後も、便にはウイルス排出が続きます。排便後の手洗い・消毒は十分にしましょう。

❖ 周囲の方々は

- 流行期、特に患者発生時は、次亜塩素酸ナトリウムを使用した消毒・拭き掃除を実施しましょう。
- 生活環境で嘔吐があった場合、健康な人が近づかないよう、早急に通路を確保しましょう。
- 嘔吐物などを処理・清掃する人は、自身が感染しないように、きちんと防御（手袋・マスク・エプロン）して処理するようにしてください。
- 汚れた衣類を洗うとき、取り除ける汚物はトイレに捨て、すすいで汚れを落とした後、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯で消毒します。この時も、処理する人は、防御が必要です。
- 使い捨てできない道具を処理に使用した場合にも、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯で消毒します。
- 次亜塩素酸ナトリウムが使用できないカーペット等の場合、アイロンで高温にする方法もあります。
- 集団生活の場で感染が広がると対策が急務です。出来るだけ速く保健所に連絡・相談しましょう。

（感染症情報センター）